

プラタなす

那須赤十字病院 広報誌

No.41

2024年2月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



診療科紹介

整形外科

登録医紹介

那須あいクリニック

社会課

赤十字ってvol.5

はやく桜が
見たいガー



マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ

「高いところから失礼します！地域に支えられて5年、那須赤十字・整形外科です」

コロナを経て

栃木県北地域の登録医・開業医の先生方、スタッフの皆さま、整形外科の竹内です。2019年4月に着任し、年明けでコロナ禍が始まりました。このため地域の先生方に対面でご挨拶することが叶わず、大変申し訳ありませんでした。当初はあと何ヶ月で終わるかと楽観視して



「ヘリポートにて撮影。左から知場（関節）、新井（脊椎）、菊地（外傷）、宇梶（外傷）、吉川（関節外科部長）、小曾根（手）、竹内（整形外科部長）」

いたパンデミックも3年を越え、私自身も濃厚接触者扱いと罹患とで計4週間塾居する羽目になりました。初回は2021年1月で、大晦日に助手で入った骨折の臨時手術の立ち会い業者のコロナ陽性が年明けに判明して、1月4日外来中に突然帰宅を命じられました。翌日は脊椎転移の手術予定で、術前日腫瘍血管閉塞術までしていながら、患者さんに会って中止を詫げることもできません。こうして整形外科医師の突然の自宅待機が延べ8人、計13週に及び、病棟閉鎖も4回、計34日ありました。多数の患者さんをお断りせねばならず、申し訳ありませんでした。

病診連携のありがたみ

このような経験をしますと、働き方を変えねば・・・という気になります。まずは外来患者数をコントロールする必要があり、新患を紹介状ありの方に限定させていただいております。これまでは受け付けておりました「今朝起きたら腰が痛かったのて来ました」という患者さんはお断りしております。幸いなことに、診立ての確かな整形外科のクリニックが近隣には多数あり、ワンクッションいただけるのは本当に助かります。手術が必要な疾患は送っていただけますし、術後

経過が安定すれば安心してお戻しできます。特に、骨粗鬆症のある患者さんは手術した部位が治っても他の骨に問題が生じてくるため、長期に渡る綿密なケアが必要で、内科の先生にまで骨粗鬆症治療を押しつけてしまっており心苦しい限りですが、那須地区から脆弱性骨折をなくして健康寿命を延命すべく引き続きご協力ください。

御礼

2020年11月の本誌でもご紹介したとおり、我々は「治せる整形外科」の浸透に邁進しております。整形外科専門医5名（脊椎2、関節2名、手1）と専攻医2名の計7人体制で、2022年度は842件の手術、うち手の外科239件、脊椎210件、関節鏡手術96件、人工関節置換手術50件といった実績でした。これもひとえに県北地域の登録医・開業医の先生方、スタッフの皆さまにご指名いただいたおかげです。大学関連病院の宿命で、特に専攻医は毎年入れ替わってしましますが、逆に常にフレッシュな心と身体で激務をこなしてくれるよい面もあります。人が入れ替わっても診療レベルを保つよう努めて参りますので、今後ともよろしく願います。

那須あいクリニック

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。

今回は「那須あいクリニック」をご紹介します。

診療科目：整形外科・リハビリテーション科・内科



久光 愛 先生

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

当クリニックは初診が非常に多く、手術や緊急の処置が必要となる患者さんが日々いらっしやる中で、那須赤十字病院は必要に応じてスムーズに受け入れをしてくださり、とても助かっています。骨折など手術が必要な患者さんの場合は、2週間以内がゴールデンタイム（比較的症状が治りやすく、手術するメリットが多い期間）と考えられており、なるべくこの期間内に治療できればと思う中、那須赤十字病院は積極的に予定を組んでくださるので、大変頼りになる存在だと感じております。

当クリニックの役割は、困っている患者さんの玄関口として、幅広い視野で診断し、適切な処置を行うことです。自分たちで診ることのできる症状と、手術など他院へ紹介が必要な症状を適切に割り振りすることも重要と考えています。当クリニックは患者さんの人数も非常に多く、毎日とても忙しい状況ですが、那須赤十字病院との地域医療連携を深め、必要な処置をさらに適切かつ迅速に実施して参りたいと思いますので、引き続きご協力いただけます

と幸いです。また、積極的な受け入れ体制の継続にも大変期待しておりますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

休日は趣味のアウトドアを楽しんでいます。旅行や登山、釣りなどを満喫することが多いです。家族みんなで楽しむので、ハードな登山や本格的な釣りとはまではいきませんが、家族と一緒に遊ぶ時間は、とてもよい気分転換になります。

地域の方々、患者さんへ一言お願いします。

当クリニックは患者さんの生活がよいものとなるように、今後幅広い分野において、様々な手助けをして参ります。

一言、私からのアドバイスといえます。怪我の主な原因には、身体のメンテナンス不足や日々の運動不足などがございます。怪我のリスクを減らすためにも、改めて基礎的な部分を意識して生活してみましよう。また、栃木県の県北地域では、活発な部活動の最中に怪我をする方が多い印象を受けますが、怪我の予防と適切な処置のために、成長期の

基本情報

- 院長 久光 愛
- 住所 〒329-3133 栃木県那須塩原市 沓掛 3-12-2
- 電話番号 0287-74-3888
- 診療科目 整形外科・リハビリテーション科・内科
- 休診日 土・日・祝日



頃から適切な身体づくりを行うことや、怪我の根本的な原因を発見することなどが非常に重要となります。

私たちは怪我などの治療のみならず、患者さんの身体づくりやメンテナンスの観点でも、お役に立てれば嬉しいと考えておりますので、何かお困りごとなどがございましたら、ぜひ当クリニックにお越しください。今後ともよろしくお願いたします。

+++赤十字って+++



こんにちは、前回は「赤十字の標章」について紹介させていただきましたがいかがだったでしょうか。
今回も「赤十字って」について知っていきましょう。

Vol. 5 「赤十字の基本原則」について

1965年（昭和40年）にウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言されました。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動の中から生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の区別なく救わなければならない。」という「人道」こそ赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものです。
赤十字が共有する7つの基本原則は以下のとおりです。

「人道」

国際赤十字・赤新月運動（以下「赤十字・赤新月」）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願

いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊厳を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

「公平」

赤十字・赤新月は国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

「中立」

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

「独立」

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できうるようその自主性を保たなければならない。

「奉仕」

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。
「単一」

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

「世界性」

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

以上が世界中の赤十字社・赤新月社が共有する7つの基本原則です。

赤十字クイズ

- 世界赤十字デーはいつでしょうか。
① 5月1日 ② 5月8日 ③ 5月12日
- 答えは、次号で発表いたします。

《前号の答え》

- 各国赤十字・赤新月社の数は何社あるでしょうか。
② 約200社（令和5年10月時点で191社）

NEXT Vol. 6

「講習事業」について



10月 大田原市健康長寿都市健康セミナー 開催

那須野が原ハーモニーホールにて、健康セミナーが開催されました。当セミナーでは、当院院長・井上先生による講演が行われ、健康増進に関する内容を参加者の皆さまにお伝えいたしました。

そのほか、当院のリハビリテーション科職員も講演に参加し、実演を交えながら解説などを行いました。



今回のセミナーの様子です

11月 大田原市産業文化祭 イベント活動に参加

11月4日、5日の2日間、当院は大田原市産業文化祭に参加し、救護テントの設置や手洗いチェック、防災関連の展示などを実施いたしました。ご参加くださいまして誠にありがとうございました。

当院は様々なイベントを通じて、地域の皆さまに役立つ情報を提供するほか、実際にどのような活動を行っているのかなども発信して参りますので、ぜひお気軽にご参加ください。



救護テントの前で皆さまをご案内

11月 第33回大田原マラソン 救護活動を実施

11月23日、4年ぶりに「大田原マラソン」が開催され、当院はマラソン参加選手の救護活動を行いました。救護班はチーム一丸となり、選手の皆さまが安心・安全に競技に参加できるよう、万全の準備を整えて救護活動に臨みました。

救護活動は赤十字の重要な役割・使命の一つでもあるため、イベント等での救護活動や災害訓練を通じて、多くの方々に貢献できるよう技能・知識の向上に尽力いたします。



マラソン完走後の選手に手当て実施

12月 東武百貨店 献血活動に参加

12月23日、東武宇都宮百貨店大田原店にて、栃木県赤十字血液センターとともに献血イベントを実施いたしました。寒い中、多くの方々が献血にご協力くださったので、感謝の気持ちでいっぱいです。

献血事業は、救護活動と同様に赤十字の重要な役割です。赤十字は少しでも多くの人々の命を救うため、引き続き献血事業にも力をいれて参りますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



けんけつちゃんと一緒に活動しました

小学生・中学生・高校生対象 病院体験ツアーはじまります。

【目的】

職業発見、将来の夢を発見

【内容】

看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師 など各職種体験ほか、防災教育セミナーも受け付けています。

【開催日時】

随時受付中、下記QRコードまたはメール・電話にてお申し込みください。

【メール：syakai@nasu.jrc.or.jp】

【電話：070-1392-1747】

【担当：医療社会事業部社会課 高橋】



受付時間変更のお知らせ (予約外受診の場合)

令和6年4月より

下記の通り受付時間を変更いたします

8:00～11:30



8:00～11:00

患者さんの待ち時間低減や医師が入院診療や手術に注力するため、受付時間を30分短縮いたします。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、予約のある場合はこの限りではありません。

編集後記

あけましておめでとうございます。

2024年になって早1ヶ月が経ちますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年は「甲辰」の年です。甲は「はじまり」を、「辰」は「大きな成長・成功」を意味するそうなので、今年は心機一転、何か新しいことに挑戦してみるとよいかもかもしれません。

私たちも、新しいことに取り組みつつ、引き続き様々な情報を発信して参ります。

(管財課 利谷)

広報誌「プラタナスNo.40」の訂正とお詫び

2023年11月発行の広報誌「プラタナスNo.40」において、文章中に誤りがありました。

下記のとおり訂正させていただくとともに、お詫び申し上げます。

| ページ | 正 | 誤 |
|-----|---|--|
| 3 | ・検査費用：121,000円(税込) ・遺伝カウンセリング料(初再診料含む)：16,500円(税込) | ・検査費用は125,000円(税別)になります(別途、初診料+遺伝カウンセリング料がかかります) |

那須赤十字病院

基本理念

日本赤十字社

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタナス 那須赤十字病院広報誌プラタナス No.41

発行日 2024年2月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷